

持続可能な開発目標 (SDGs)



SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。

持続可能な開発目標 (SDGs) は、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。

J.FECが貢献する目標 (SDGs)



2018年、J.FECは第2回「ジャパンSDGsアワード」で最優秀賞 (内閣総理大臣賞) を受賞しました!



つくる責任 使う責任

生産と消費のパターンを持続可能なものにすることを促進する



飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、栄養を改善し、持続可能な農業をすすめる



働きがいも 経済成長も

みんなが参加できる持続可能な経済成長を促進し、全ての人が職をもち、働きがいのある人間らしい仕事ができるようにする



すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢の全ての人の健康な生活を確保し、福祉を推進する



気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響を軽減するための緊急対策を講じる



エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

全ての人が、安くて安定的に発電してくれる、持続可能なエネルギー (太陽光、風力などの再生可能エネルギー) が使えるようにする



パートナーシップで目標を達成しよう
目標達成のために必要な行動を強化し、持続可能な開発に向けて世界の国々が協力する



ターゲット 12.3



国連本部 (ニューヨーク)
「ハイレベル政治フォーラム」
におけるスピーチ。



ドイツ (ベルリン)
「G7 ワークショップ」
におけるスピーチ。

*ゴール12 「持続可能な生産消費形態を確保する」 (Ensure sustainable consumption and production patterns) のターゲットの1つ

○12.3 : 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。